

## 浮き床栽培

### ケナフの浮き床栽培記録です。

ケナフは本来は暖かい地域の植物らしいですが、日本でも上手に育てれば4m以上にまで育つそうです。

なぜケナフが注目されるのか。

- 1、ケナフは1年草で非木材のパルプ原料になる。
- 2、成長が早く大気中の二酸化炭素を大量に吸収する。
- 3、栽培に手間がかからずやせた土地でも丈夫に育つ。

等から、ケナフが紙の原料としての木材の替わりになれば、輸入する材木を減らす事が出来る野ではないかということのようです。

又成長が早く、地球温暖化で問題になっている二酸化炭素を大量に取り込んでくれるはずらしい。しかし外来種であるケナフが野生化してしまう危険性を指摘して、栽培自体に反対する意見もあるようです。

これらの特徴や問題点を考慮して、ケナフを浮き床栽培法で育ててみようと思いました。

### 目的

- 1、成長が早く大きくなる事から、養分を大量に吸い上げるはずと考え、湖沼の水質浄化に使えないか試してみたい。
- 2、莖丈を2.0m程度で抑えて幹を太くさせ、パルプ材料としての作業効率を高める。又柔らかい葉や新芽を食料や飼料などに活用出来ないか試してみたい。
- 3、莖丈を抑えた場合、野生化防止の為にケナフの実の付け方を見たい。
- 4、成長過程で風の影響がどの程度受けるのか見たい。

### 成長記録（2005）



6月3日 ケナフの種蒔き後5日程度種を1日水につけ筋状に播きました発芽率は80%以上ありました。



ケナフの浮床での栽培実験です。紙パックポットでどの程度成長するか水質浄化の可能性などを調べてみます



6月11日 苗を1本ずつ紙ポットに植え替えました。庭の苗床で根切り虫が出て来たので急いで植え替えました



浮き床に並べてみました。苗の数が足りないで周りだけです。浮力調整の為にブロックを並べました



90cmほどまで伸びてきました。支柱を立てていないので倒れて易い。水中に増えた藻をすくい入れてみた。



支柱も立てたのでまっすぐ1.5, ~1.8メートル程度まで伸びています。移植した後は肥料をやっていません。



ケナフの根は紙ポットからあふれて  
水中にもこんなに伸びてきています。  
水質汚染物質も吸い取ってくれます



水中の養分が足りないのかそんなに  
大きくはならないようです。高さ1.8  
mで芯を切り上への成長を抑えます。



9月下旬  
芯を切った物も脇目が伸びてきました。  
切らない2本は2.5m程度まであります



青空にまっすぐ伸びて咲いた  
ケナフの花です。  
つぼみもいっぱい付いています



芯切りした部分から脇目が伸びて  
花が咲きました。この方が下の幹が太  
くなり花芽も多く付くようです。



10月中旬 ケナフの下葉や花が池部分  
に落下して沈んでいた。湖沼の水質浄  
化目的の浮き床栽培には問題かも。